

# 株式会社で利益出すぞ

## たつのの児童55人 起業体験で経営学ぶ



仕入量や売価などを話し合う子どもたち  
〓 たつの市龍野町富永

たつの市内の小学5、6年生55人が、模擬株式会社をつくって経営を学ぶ「起業体験」に取り組んでいる。企画から販売まで約4カ月かけて準備し、11月3日に開かれる「たつの市民まつり」に出店して利益獲得を目指す。7日は、龍野経済交流センター（同市龍野町富永）に「社員」が集まり、仕入量や売価、店の宣伝方法などを話し合った。

（田中宏樹）

### 11月3日 市民まつりに出店

龍野商工会議所青年部画。同青年部の会員が講師を務める。同様の取り組みは約15年前、福島県

会津若松市で始まり、県内での実施は珍しいという。

体験は7月下旬に開始。子どもたちは5、6人の10社に分かれて社長や商品部長、財務部長などの「役員」を決め、市内外のスーパーなどを巡って仕入価格を調査した。出店までの間、銀行からの融資の受け方や株券の発行など、保護者らの協力も得て商売の流れを体験する。

この日は、原価と売価、利益の関係を学んだ後、販売計画を立案。利益目標や模擬店のレイアウトなども議論した。

小宅小学5年の5人による「陽だまり」は、スーパーボールすくいを企画

の集大成にしたい」と力を込める。周囲への感謝を胸に、世界の舞台で一心に糧を振るう。（田中宏樹）

画。ボールの大きさを仕入れ値が異なることを踏まえ、仕入れ個数などを慎重に話し合った。社長役の前田幸誠君（10）は「どのボールを何個買えば、利益を多く出せるのか悩んだ。こんな難しいことを考える大人はすごい」と話していた。子どもたちは8日にジネスマナーなどを学習する。

### 「播磨新宮駅まつり」に800人

## 沿線B級グルメに舌鼓

JR姫新線の播磨新宮駅（たつの市新宮町新宮）の利用者と地域住民が交流する「播磨新宮駅まつり」が7日、同駅南広場で開かれた。たつの市や佐用町、姫路市など同線沿線のB級グルメが販売され、家族連れら約800人でにぎわった。

同駅は3年前に改築。新たな駅前ににぎわいを生み出そうと、たつの市連合自治会新宮支部や同市観光協会新宮支部などによる実行委員会が同まつりを企画した。

会場では、新宮中学校や龍野北高校の生徒が、吹奏楽演奏を披露。新宮町のしょうゆ焼きそばやどんなんなどの飲食ブースも



播磨新宮駅前での息の合った演奏を披露する新宮中学校の生徒たち＝たつの市新宮町新宮

の身体、知的障害者が連動して汗を流す「西播磨福祉地区障害者スポーツ大会」が7日、たつの市新宮町光都の西播磨総合リハビリテーションセンターであった。3町から約190人が参加し、6チームによる団体戦で優勝を争った。障害者の体力増進など

にきわい、子どもたちが笑顔で頬張っていた。また、同駅から佐用町の上月駅まで貸し切り列車も運行。龍野北高の放送部員が、車内放送で沿線の魅力をPRした。

新宮幼稚園の園児約60人は、かわいらしいタン

姫新線使い  
クリ拾いへ  
佐用でハイキング  
来月5日

JR佐用駅から約7キロ離れた佐用町豊福、豊福栗園まで歩き、クリ拾いを楽しむ「栗ひろいハイキング」が10月5日にある。主催の「姫新線利用促進・活性化同盟」（事務局・たつの市）が参加者を募っている。クリは持ち帰ることがで